

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
教育学	4年次	必修	講義	2単位（30時間）	近藤 昭一
授 業 概 要					
<p>将来、栄養関連分野の職務や栄養指導等を行う受講者に求められる資質・能力の向上に資するため、教育の意義や原理、教育制度・教育方法等に関する基本的知識を学ぶとともに、授業演習等を通じて教育上の実践力を身につけることを目指す。また、社会全体の健康・福祉の増進を担う栄養と食の専門職として、地球規模の社会変動の渦中にある現代社会のありようを見据え、特に次世代育成にかかる教育諸課題と教育改革の動向を理解し、自らの職務の社会的な意義について考察を深めていく。さらには、教育相談の原理や方法などについても演習等を通じて実践的に学び、栄養指導等において人とかかわる際に求められる資質・能力を理解し、自らのキャリア形成に役立てる。</p>					
到 達 目 標					
<p>①教育の意義や原理、教育制度・教育方法等に関する基本概念を説明することができる。 ②授業分析や授業演習を通して授業の構成・進行の方法を理解し、自らの課題を自覚して改善を図ることができる。 ③次世代育成にかかる教育諸課題と教育改革の動向について、栄養と食の専門職としてこれを理解し、説明できる。 ④地球規模の社会変動の渦中にある現代社会のありようとその課題を理解し、社会全体の健康・福祉の増進を担う栄養と食の専門職としての問題意識を高め、自らのキャリア形成に生かすことができる。 ⑤教育相談の演習等を通じて相互理解の方法と意義を学び、自らのキャリア形成上の課題を自覚したうえで、コミュニケーション能力の向上に取り組むことができる。</p>					
実務経験のある教員					
学 習 内 容					
回	学 習 内 容				担当教員
1	教育の意義と原理 一人間性の発見と義務教育の源流―				近藤 昭一
2	教育制度と学校教育 一学校の存在意義と近代国家の成立―				
3	地球規模の社会変動と教育改革の動向				
4	子どもの成長上の課題と社会背景 一家庭・地域の教育力の低下―				
5	教育の方法と子ども理解 一専門的能力をもつ専門職として人に向き合う―				
6	子どもの成長上の課題と問題行動・不適応(1) 一いじめ・自死・ネット依存等―				
7	子どもの成長上の課題と問題行動・不適応(2) 一不登校・ひきこもり等―				
8	授業分析と授業演習(1) 一授業観察と授業分析の方法―				
9	授業分析と授業演習(2) 一授業の要素と学びの構成―				
10	授業分析と授業演習(3) 一授業の組み立てと子どもの主体的な学び―				
11	教育相談の原理と方法 一カウンセリングマインドと栄養指導―				
12	教育相談演習(1) 一ロールプレイとカウンセリングマインド―				
13	教育相談演習(2) 一ロールプレイとカウンセリングマインド―				
14	教育相談演習(3) 一ロールプレイとカウンセリングマインド―				
15	まとめ（社会と向き合う栄養と食の専門職）と学修確認試験				
学 習 方 法					
<p>講義形式に加えて、課題検討のグループディスカッションや授業演習・教育相談演習等のグループワークなどによって授業を進行する。授業への理解度を把握するため、「授業理解シート」への記入や適宜の「ミニレポート」の提出求め、これらを元に授業計画を調整して進行する。</p>					
評 価 方 法					
<p>〔評価方法〕 「授業理解シート」への記入や適宜の「ミニレポート」40%、授業への参加姿勢10%、学修確認試験50%で評価する。</p>					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>教科書は使用しない。プリント資料等はこちらで用意する。 参考書は随時紹介する。</p>					